

## 第2節 環境学習

### 1 概要

近年、環境問題は私たちの身近な日常生活に根ざした問題から地球規模の環境問題まで幅広く、複雑多様化してきている。

これらの問題に対処し住みよい環境を推進していくためには、市民、企業、市民団体、学校、および行政などの多様な主体一人ひとりが、環境との関係について深く理解し、環境に配慮した生活、行動ができる人の育成が大切である。

環境学習とは、毎日の生活や行動が環境に及ぼす影響を理解し、責任ある行動がとれる人の育成を目指す生涯学習であり、学習自体を目的とするのではなく、住みよい快適な環境づくりを目指すための一つ的手段として展開するものである。

### 2 環境教育支援センター（エコネットさばえ）

環境学習を総合的に推進していくための活動拠点、また、環境に関する情報収集発信の拠点施設として、平成17年4月26日に環境教育支援センターがオープンした。

施設は鉄筋コンクリート造り地上2階地下1階建て、延床面積は939㎡で、地下1階には駐車場および倉庫、1階には情報コーナー、会議室および事務室、2階には体験学習室、ギャラリーおよび会議スペースを備えている。

施設の特徴は、自然の風を利用したハイブリッド空調、自然光を利用したライトシェルフ照明機能、太陽光発電等が設置され、環境に配慮した構造になっている。

なお、平成20年4月よりNPO法人エコプラザさばえを指定管理者として指定し、同団体がセンターの管理運営、市や市民団体と協働で環境教育、啓発事業をおこなっている。この制度移行により、多くの方々の創意工夫と、市民参加と交流でより一層の成果をあげている。

- ・休館日 毎週水曜日、国民の祝日、年末年始
- ・開館時間 午前8時30分～午後10時
- ・貸室 会議室および体験学習室

H22 来館者数	13,168人	開館日数	294日
太陽光発電量	871Kw	利用団体数	延べ502団体

### 3 環境フェア

広く市民等への環境保全に関する啓発を行うことを目的として開催される。

平成22年度の「環境フェア」の概要は次のとおりである。

- 事業名 ●さばえ環境フェア2010  
「ストップ・ザ・地球温暖化 in さばえ」  
～子どもたちに残そう明るい未来～
- 開催日 ●平成22年8月21日（土）
- 場所 ●嚮陽会館
- 主催 ●鯖江市、鯖江市環境まちづくり委員会環の国さばえ実行委員会環境フェア部会
- 主管 ●鯖江市環境教育支援センター 指定管理者(特)エコプラザさばえ
- 後援 ●鯖江市教育委員会、鯖江市広域衛生施設組合、福井新聞社、NHK福井放送局、FBC福井放送局、福井テレビ、FM福井、丹南ケーブルテレビ、たんなんFM79.1
- 主な内容 ●環境講演会（「だれでもできるごみダイエット」講師：崎田裕子

氏(環境省3R推進マイスター)、親子で遊ぼう!環境体験ゲーム、森づくりコーナー、ネイチャークラフト、環境販売コーナー、クイズラリー、環境関連の展示・体験コーナー他

#### 4 環境体験学習講座

平成17年度より、当センターの自主事業として開始した。

様々な体験を通じて環境への取り組みを身近に感じてもらうことを目的として、一般の市民の方々を対象にダンボールコンポスト体験やキノコの菌打ち体験などの内容で21回開催し、501名の参加があった。

また、市内小中学校を対象とした小学校区単位の環境体験学習講座では、各校ごとの学習要望に基づき、学校給食から出る野菜クズを堆肥化し学校農園で活用するといった資源循環の学習や、廃食油を使った石鹸やろうそく作りなどの内容で41回開催し、3,056名の参加があった。

#### 5 企業と市民の地球環境大作戦

平成17年度より、企業と市民が協働で地球環境保全のための活動を行うことを目的に、市民による環境にやさしい企業への訪問や市民と企業の従業員による、温暖化防止のための森づくりを協働で実施した。

##### ①「環境にやさしい企業活動・地域活動訪問」

開催日 ●平成22年11月2日(火) 12月7日(火)  
訪問先 ●1回目 (株)ウラセ・マルサンアイ 2回目 (株)平和堂  
内容 ●①繊維クズリサイクルペレット工場及びボイラー見学  
②企業内環境CSRの取組みの見学  
参加者 ●①13名 ②16名

##### ②「地球温暖化防止のための森づくり」

開催日 ●平成22年10月10日(日)・10月24日(日)  
内容 ●河和田地区殿上山などに広葉樹の苗木1,250本を植樹  
●自然植生についての学習をし、後日実際の植樹地へ経過視察も行った。

#### 6 親子リサイクルバスツアーの開催

平成17年度より、地球環境保全について親子で考え、家庭からできる地球環境保全実践活動の契機づくりを目的に実施した。

事業名 ●「親子リサイクルバスツアー」  
開催日 ●平成22年7月27日(火) 29日(木)  
内容 ●富山市エコタウン交流センター及びエコタウン産業団地内工場見学  
あらゆる廃棄物をゼロにすることを目指す『ゼロ・エミッション構想』を基軸に、地域の振興を図りながら、環境と調和したまちづくりを推進する事業について学習しました。  
参加者 ●78名

## 7 かんきょう市民大学・井戸端会議

一般市民を対象に講師を招き、環境保全や環境学習に関する事例や取り組みについて年2回の講座を開催、125名の参加があった。

平成22年度の「かんきょう市民大学」の概要は次のとおりである。

	日 時	内 容	講 師	受講者数
1	10月23日(土) 13:30~15:00	竹の活用による地域おこし	(株)サクシード 代表 合間 修一 氏	42名
2	12月12日(日) 10:30~12:00	生ごみ分別回収サークル活動と資源循環	(特)環境Uフレンズ 理事長 山本 美紀子 氏	43名

平成22年度の「環境井戸端会議」の概要は次のとおりである。

	日 時	内 容	講 師	受講者数
1	7月10日(土) 10:00~12:00	エコ通勤のすすめ	(特)ROBAの会 事務局長 清水 省吾 氏	20名
2	1月15日(土) 10:30~12:00	省エネ家電基礎知識	パナソニック電工(株) 石橋 正宏 氏	20名

## 8 かんきょうセミナー

事業所に対する環境保全に関する普及啓発の推進、環境情報の提供を目的として年1回開催。

平成22年度の「企業向け環境セミナー」の概要は次のとおりである。

- 開催日 ●平成23年3月25日(金)  
場 所 ●エコネットさばえ 会議室  
内容 ●「上場企業から学ぶ環境実践」  
(財)下水道新技術推進機構 落 修一氏  
参加者 ●44名

## 9 環境リーダー養成講座

環境問題に対して、地域や学校、職場等において主体的な情報発信や実践活動ができる人材養成を目的とした研修講座を延べ3日間の通学方式にて開催。

平成22年度の「環境リーダー養成講座」の概要は次のとおりである。

- 開催日 ●平成22年8月24日(土)、9月18日(土)、10月9日(土)  
場 所 ●エコネットさばえ  
主な内容 ●「環境全般」「3Rとゴミ問題」「生物多様性」「新エネルギー」  
「環境と経済」「生活と環境」の6講座  
講 師 ●浅利美鈴氏、井上哲夫氏、佐飛康央氏、帰山順子氏他  
受講生 ●201名

## 10 ディスカバーさばえ in 西山公園

鯖江市環境基本計画では、鯖江市内を4つの地域（西部地域、中央地域、東部地域、河和田地域）に分けている。

平成22年度は、中央地域、西山公園遊歩道にて実施し、地域のボランティアガイドや生態系の専門家の説明を受けながら西山公園の植生や文化の再発見を行った。

参加者 35名

## 11 環境アドバイザー派遣制度

平成13年8月から、市民・民間団体・事業者・学校等が環境保全についての研修会や学習会を開催する際に、環境の専門的な知識や技術を持った環境アドバイザーを講師として派遣している。

平成23年3月現在、34名が環境アドバイザーとして登録されており、平成22年度は、市民からの要請を受け、延べ17名のアドバイザーを派遣した。

## 12 こどもエコクラブ

次の世代を担う子ども達が、地域の中で仲間と一緒に地域環境・地球環境に関する学習や具体的な活動に取り組むため、平成7年度から「こどもエコクラブ」が全国各地に環境省の支援のもと自主的に設立された。毎年度小中学生を対象に募集を行い、活動を支援する保護者・先生と協力し、21世紀を担う子ども達が将来にわたり環境を大切にする意識を育むことを支援している。

エコクラブの会員になると、1年に4回、こどもエコクラブ全国事務局から、全国の活動や環境についての情報や、各イベントのお知らせ等が記されているニュースレターが送られてくる。各ニュースレターの中の簡単な課題を修了すると、アースレンジャーに認定される。

平成22年度のこどもエコクラブ登録団体は30クラブが結成され、936名の子どもたちが活動を行った。

子どもたちの環境学習及び環境保全に関する活動内容などを発表する『こどもエコクラブ活動交流会』を、市とこどもエコクラブ活動交流会実行委員会の主催、および（特）エコプラザさばえとの協働で開催した。活動発表後、県内環境保全団体によるワークショップを活用したクラブ間の交流を図り、その後地産地消による食育教育のための交流も行った。活動交流会の概要は次のとおりである。

開催日	●平成23年2月11日（金）
場 所	●鯖江市禰陽会館 多目的ホール
活動報告クラブ数	●1クラブ
総出席者数	●約500名

表 3-2-13-1 平成 22 年度 こどもエコクラブ登録名簿 平成 23 年 3 月現在

No.	クラブ名	学校・団体	クラブ員数	学年
1	みんな なかよし 1ねんせい	河和田小学校	32	1年
2	おいしい野菜を作り隊	河和田小学校	44	2年
3	どんぐりころころクラブ	河和田小学校	40	3年
4	自然大好きクラブ	河和田小学校	20	3年
5	河和田 E稲 401	河和田小学校	22	4年
6	河和田 E稲 402	河和田小学校	22	4年
7	安全な食 見つけ隊	河和田小学校	26	5年
8	生ごみ仕分け隊	河和田小学校	51	5年
9	E C O 4 8	河和田小学校	46	6年
10	鯖江東小エコクラブ	鯖江東小学校	15	小4・5・6
11	神明ゴーヤ隊	神明小学校	11	5年
12	ハローボランティア	神明小学校	27	小4・5・6
13	みんなにいいこと考えよう会	神明小学校	27	小4・5・6
14	大すき吉川401	吉川小学校	33	4年
15	大すき吉川402	吉川小学校	30	4年
16	大すき吉川403	吉川小学校	30	4年
17	大すき吉川404	吉川小学校	31	4年
18	立待エコクラブⅡ	立待小学校	32	5年
19	立待エコクラブⅢ	立待小学校	32	5年
20	中河 きらめき たんけんたい	中河小学校	40	3年
21	e-c o (イコ) クラブ	中河小学校	36	5年
22	鳥羽るんジャー隊3-1	鳥羽小学校	39	3年
23	鳥羽るんジャー隊3-2	鳥羽小学校	41	3年
24	鳥羽エコクラブ4-1	鳥羽小学校	29	4年
25	鳥羽エコクラブ4-2	鳥羽小学校	29	4年
26	鳥羽エコクラブ4-3	鳥羽小学校	30	4年
27	鳥羽エコクラブ5-1	鳥羽小学校	32	5年
28	鳥羽エコクラブ5-2	鳥羽小学校	32	5年
29	鳥羽エコクラブ5-3	鳥羽小学校	33	5年
30	鳥羽小エコ委員会	鳥羽小学校	24	小4・5・6
合計		30	936	